

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」助成活動レポート

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	東日本大震災「祈り」実行委員会
支援対象者・エリア	東北6県（岩手県・宮城県・山形県・秋田県・青森県・福島県）
企画開催地	山形県米沢市 宮城県大郷町
企画名称	TOHOKU ROCK' N ROLL 雲漢(うんかん)
実施期間	2020年3月14日 3月15日 （コロナウイルスのため中止）

支援活動の目的・内容・感想

（どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など）

当委員会は、発起人が東北在住や東北出身者である為、被災した方々の心と経済の復興に取り組んで参りました。

過去の自然災害を通し発達してきた楽器「津軽三味線」が心の復興に貢献し、400年前に起きた地震がスペインとの交流をつくり、最近ではインバウンドによる東北経済の促進へと、東北自らがもつ歴史文化の復興力に目を向け活動してきました。

そしてこの度は、復興半ばの東北を台風が襲い、自然災害は再び人の「気力」「体力」までも奪い、苦しみへ接した私達は、開催地と内容を急遽変更することになりました。準備期間は4ヶ月。

当初迷惑そうな地元の方も、会場、集客などの面で立ち上がり、「やる気」を起こし、私達との共同作業に一生懸命お力添えを下さいました。

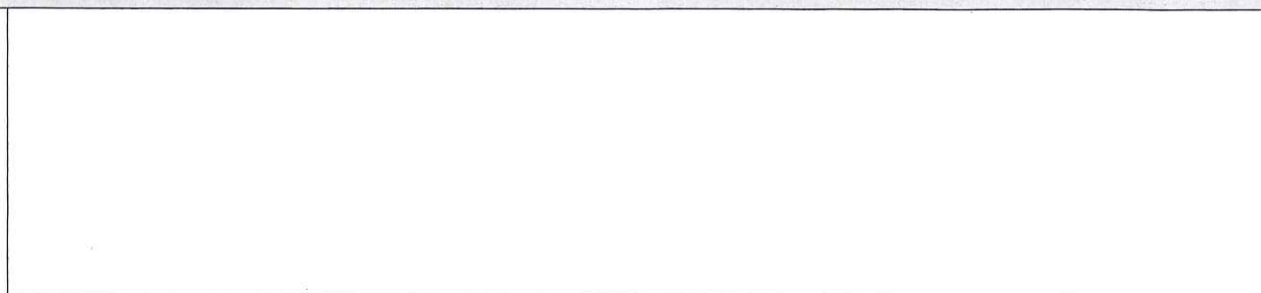
リハーサルも終わり開催準備も整ったころ、世界的に拡散した新型コロナウイルスによるイベント自粛要請は、被災者に三度目の試練ともなり、活動はやむなく中止となりました。

とても残念な結果でしたが、現地とのやり取りを通し今回も東北人の粘り強さや人を思う心などを感じました。自然災害は、無常な試練を与えながら東北人をつくってきたのでしょうか。

この9年の活動では、辛い悲しい思いを繰り返さないために「自然と共に生きる」事を、被災者は身をもって教えてくれたのではと感じております。

長引いている東北の復興が、頻発している国内外の災害で置きざりにされないようにこれからも応援していきたいと思っております。

活動の様子（写真など）



※本レポートに掲載された写真はパルシステム東京ホームページ等で公開させていただきます。予めご了承ください。